

有明町教育委員会埋蔵

文化財調査報告書第7号

# 灰の久保遺跡調査速報

昭和62年8月

有明町教育委員会



# 灰の久保遺跡調査速報

昭和 62 年 8 月

有明町教育委員会

## 序 文

有明町灰の久保遺跡は、有明海に面し、島原市に隣接する三之沢名にあり、現在の海岸線より4km位の山手にあり、標高90m～100mに及ぶところに位置する。

当地域は、古くから牛蒡の産地として有名であったが、連作障害等のため、現在では、野菜・果実類の畑として活用されている。

この度、長崎県の企画による広域農道の本年度工事予定地となつていたので、発掘調査した。

調査に当っては、各関係官庁の御指導と御援助を賜わると共に、古田先生をはじめ、多くの方々の御協力により調査が完了し、報告書の完成をみることが出来たのは、誠に喜ばしいことである。

遺跡調査に関係された方々の御労苦と御熱意に深く感謝し、この報告書が後世に保存活用されることを切望し、お礼の言葉としたい。

昭和62年8月15日

有明町教育長

伊藤政俊

## 例　　言

長崎県の企画による広域農道布設予定地の発掘調査を、本年6月15日より7月31日までの間実施した。

この期間は丁度梅雨時に当たり、続く悪天候と酷暑の中を、労務を担当された松本キヲ、浜口チヨメ、松本キミエ、隈部ツルエ、管トシエ、早稲田あい子、三浦さつえ、早稲田ヤチヨ、松下まつよ、松本一人、古川みよ子、寺田啓子、松本あけみ、本山ヨシ子の各氏には連日の御苦労を煩わした。また整理に当たっては宮本次人氏の協力を得た。以上各氏に対しては深く感謝の意を表したい。

昭和62年8月15日

古田正隆

# 目 次

1. 調査の概況 (第 1, 2 図) .....	1
2. 各地層の状況 (第 3 図) .....	1
3. 出土遺物の状況 .....	2
A. 土器 (第 4 図～第 6 図) .....	2
B. 遺構 .....	2
C. 本遺跡の特色 .....	3
4. 問題の提起 .....	3

## 図

1. 有明町遺跡地図 (灰の久保は, 24 の地域) .....	4
2. トレンチ設定概様図 .....	5
3. 各トレンチ地層図 .....	6
4. 土器実測図 .....	8
5. 1 号甕棺実測図 .....	11
6. 土錘実測図 .....	12
7. 石器実測図 .....	12
8. 鉄器実測図 .....	12
9. 写真図 各トレンチとその内部写真 .....	13
10. 写真図, 土器写真図 (上左 : 押型文土器, 下左 : 土師, 陶器, 祭祀土器, 下右 : 土錘) .....	27

# 灰の久保遺跡調査速報

古田正隆

## 1. 調査の概況（第1図、2図）

長崎県は島原振興局という県出先機関を通じて、島原半島の広域農道の設置工事を目下実施している。

筆者がたまたま工事地の状況を視察したのが、昨年10月頃であった。部分的には事前調査がないとのことであり、地形的には現在の常識的生活の場とは結びつかない現地ではあるが、周辺遺跡との関係を考えたとき、その必要性を考えられたので事前調査の実施を提案した。

本年6月中旬頃、有明町教育委員会より調査依頼の話があり、諸手続きや諸準備が終わっているとの話で、調査を承知した次第であった。

調査終了後の反省からすれば、文化財保護法の趣旨の理解が万全であったとは思えないふしのあることが感ぜられた。

第2図に示すように、調査地を、地形、現地作物の栽培状況からA、B、Cの3区に区分、A区に1～3トレンチを、B区に4～6トレンチを、C区に7～20トレンチを設定して調査を実施した。

各トレンチは一様ではないが、概様として幅を1.5メートル、発掘各番号トレンチの長さを3メートルとした。（第3図）

## 2. 各地層の状況（第3図）

第2図に示すA、B、C地区共に概括として類似する地層で、1層は黒色耕土であり、2層は黒色土であるが、2T-1、2T-15は褐色土で、7T-1、7T-3、7T-5は黒褐色土であった。

第3層は一般に褐色土であったが、2T-1、2T-15、6T、8T、9T、10T、11T、12T、13Tでは黒褐色土であった。また5T-5では黒色火山灰土であり、（5T-1も同様）4層は褐色土で、7T-5は黒褐色土、5層は赤褐色土、7T-1、7T-3では3層が赤褐色土で、この中には押型文土器が出土し、各地層に比べて古層であることを示している。

当地は古くから牛蒡の産地で牛蒡の植付けをみない畑はなかったといわれる程で、今回の調査地でも地層図に示すように、2T-1、3T-2、3T-6、5T-1、6T-3、

12T-3等にみる如く、牛蒡掘りの機械化されたトレントナーの発掘痕跡で<sup>#1</sup>、現在は単なる畠地となり、連作障害のため牛蒡の作付は中断されているが、時には果樹園であり、埋蔵文化の層も大きく攪乱されていた。

### 3. 出土遺物の状況

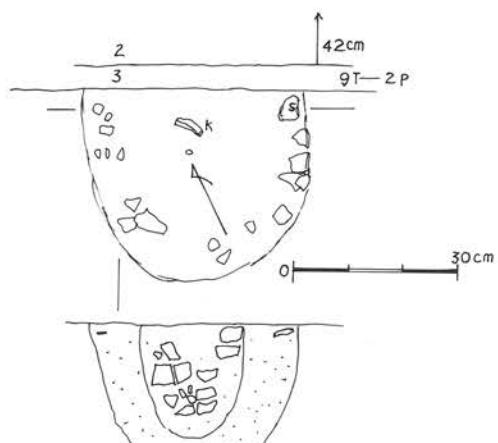
#### A. 土器（第4図～第6図）

土器は土器実測図1に示す押型文土器、同図50の土器は縄文早期のものであるが、216は阿高式系とみられる他、101, 32, 139等の縄文後期末的黒色研磨土器、166-2, 201, 272, 240, 150等は条痕土器で晚期的なもの、32, 219, 106等の弥生式土器的なもの、122-1, 93等の土師的なものと、その出土種類は甚だ雑多であるが、前記地層図で述べたとおり、地層の攪乱と出土土器が細片のため、器形は推定しがたく、この遺跡は縄文から弥生のある時期、古墳期のある時期を経て、第8図鉄器実測図にみるように、先史時代の初期から中期に及ぶ遺跡であったというべきであろう。

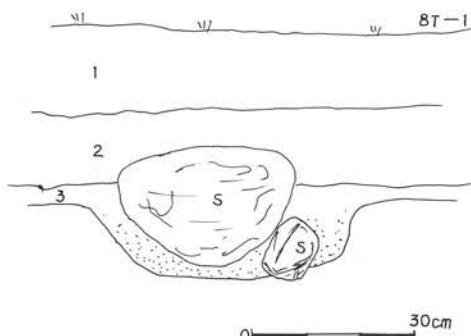
原

#### B. 遺構（土器実測図5, 6, 写真図8の8T-1, 9T-2, 9左同, 10-11T）

挿図1は9トレンチ内で発見された甕棺の埋葬施設とみられるものであった。挿図2は8トレンチ内で発見されたものであるが、これは多分土壙墓であるとみられよう。その他写真図7の7T-5、同8の9T-5、同11図15T-1等も埋葬的なものであろうと考えられるものの、それ以上の確認の方法はなかった。



(挿図1)



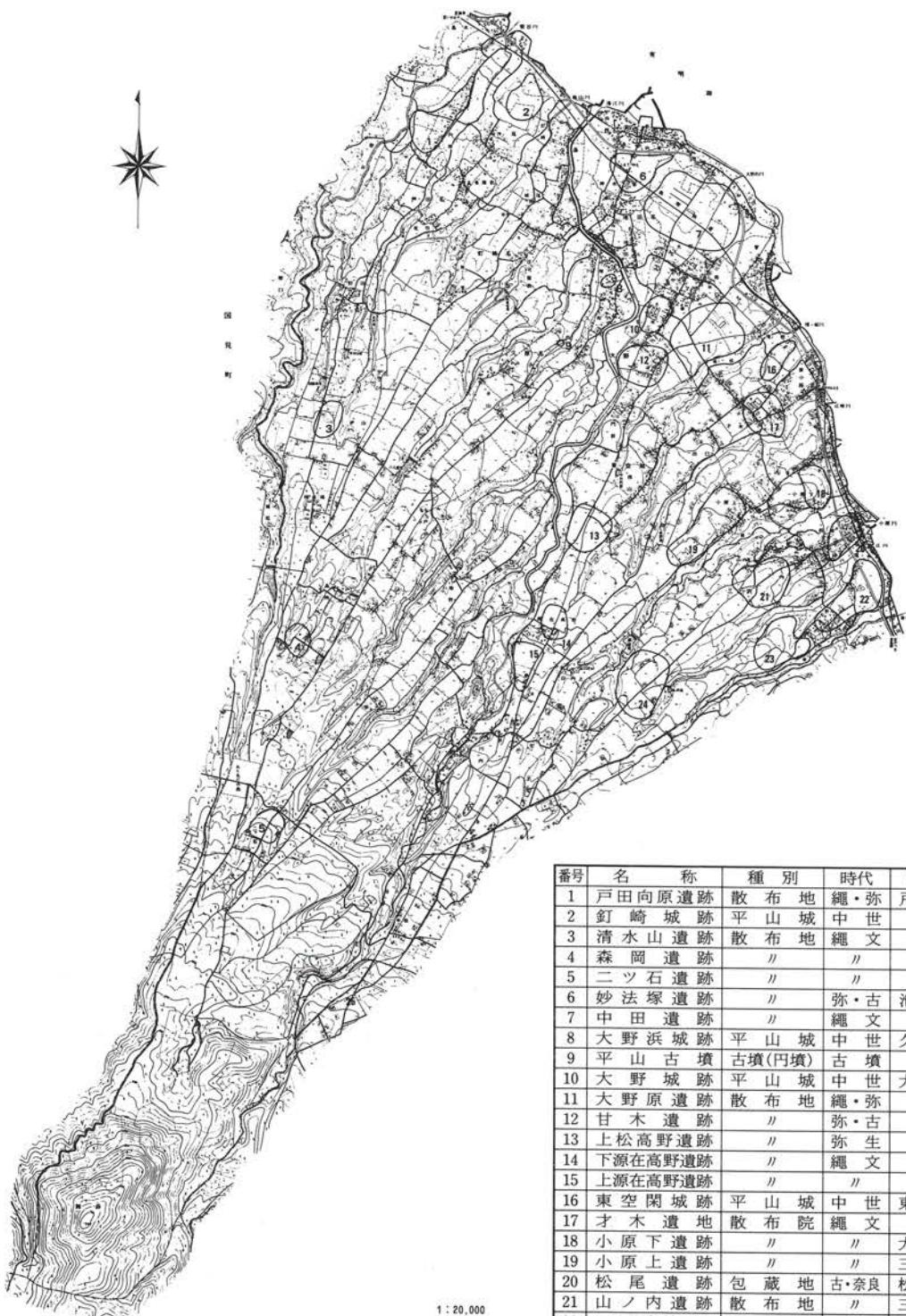
(挿図2)

### C. 本遺跡の特色（第1，2図）

本遺跡地は第1，2図にみる如く、標高100メートル前後の丘上に立地する遺跡で、現海岸より3キロメートル以上の距離にあるにもかかわらず、第7図に示す如く、土錐の多数出土、同図129—1の如き造礁珊瑚（当地方の方言で「マガリ」と呼んでいる）の出土は、南方文化とのつながりが強く<sup>#2</sup>、この地の下方（東北東、第1図、22の地）松崎においては貝の信仰に関する遺構が多く出土しており<sup>#3</sup>、渡来住民の移動や、地域住民の生活地変更等を考えるうえにおいて重要であり、海外文化流入の一地域的先進地ともみられよう。

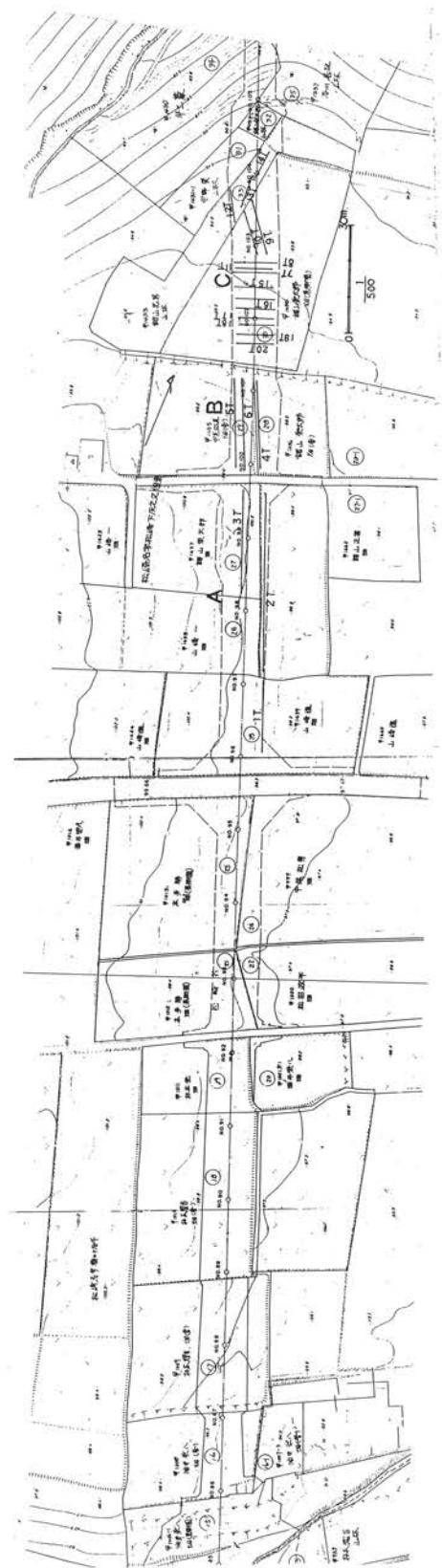
### 注　解

- ① 古田外「大野原遺跡発掘調査概報（昭和60年度）」有明町埋蔵文化財調査報告第3号、昭和60年11月。
- ② 三島格「サンゴと貝」南島考古第5号、1977—12。
- ③ 古田「貝の信仰」島原風土記3号、昭和61年刊。



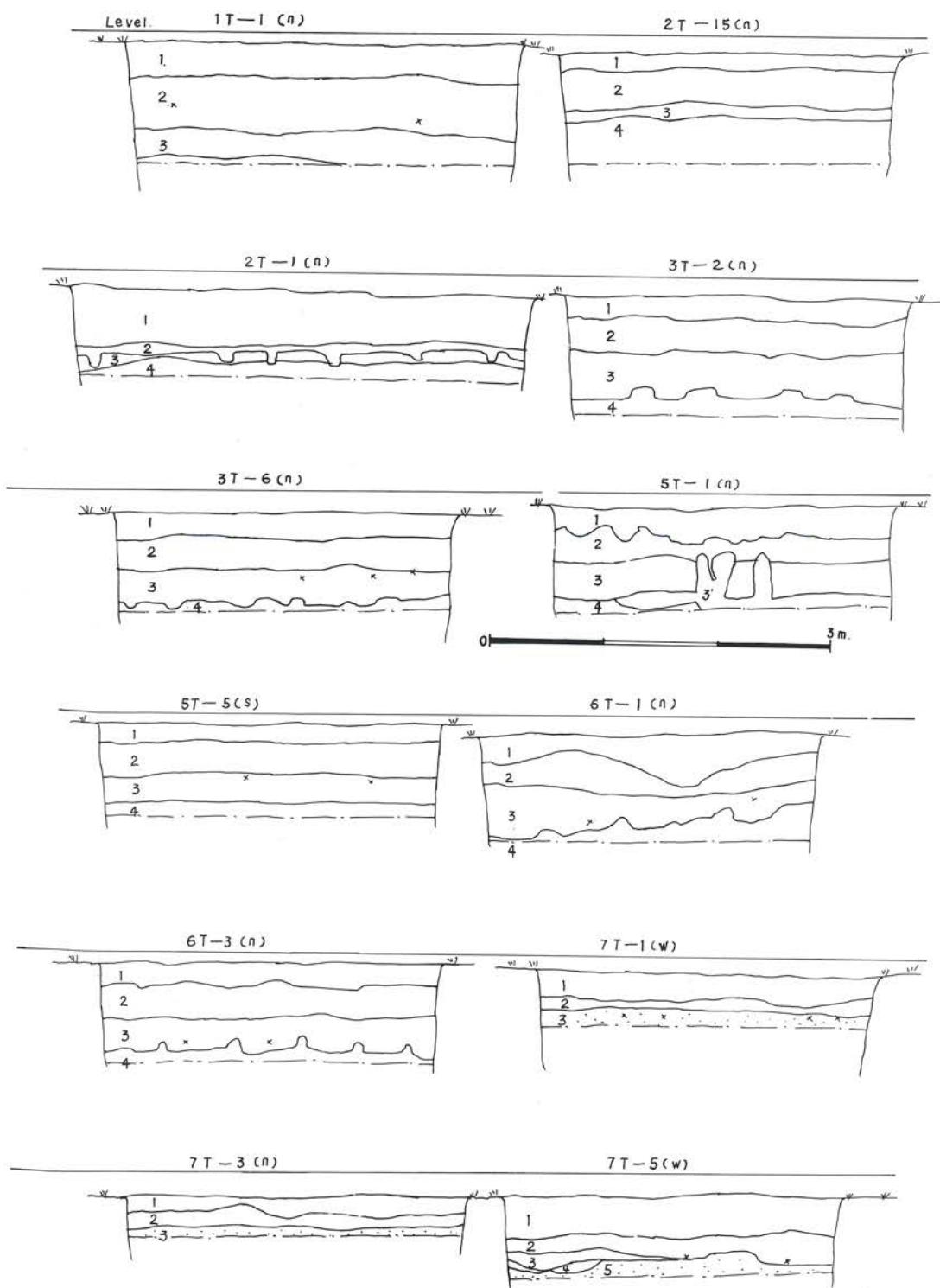
第一図 灰の久保遺跡の位置図 (24の地域)  
(有明町遺跡地図, 昭和59年3月作製)

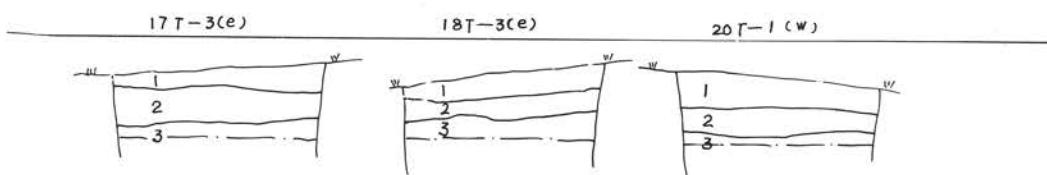
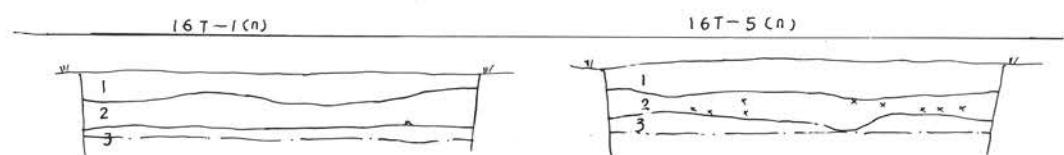
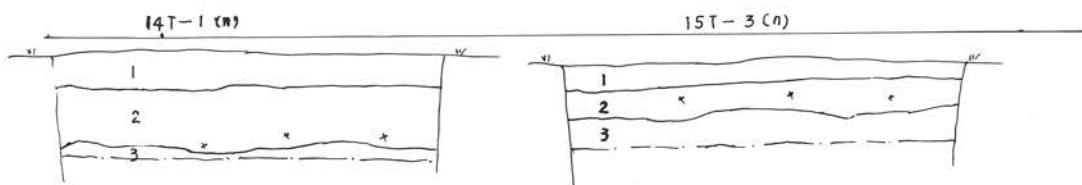
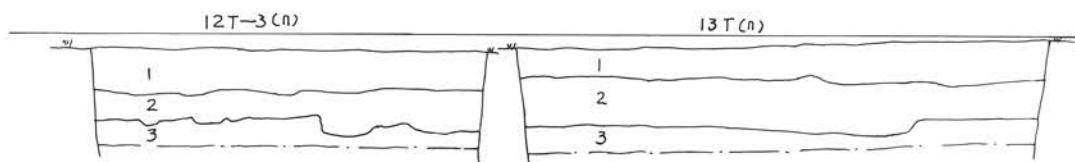
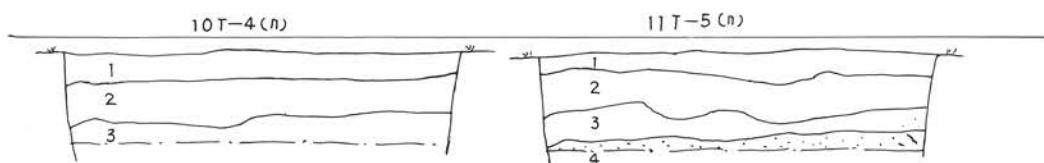
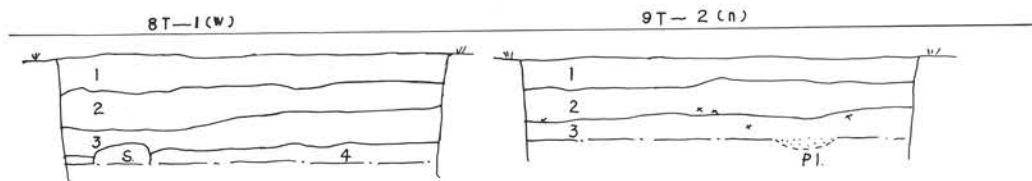
番号	名 称	種 別	時 代	所 在 地
1	戸田向原遺跡	散 布 地	繩・弥	戸田名
2	釘崎城跡	平 山 城	中世	〃
3	清水山遺跡	散 布 地	繩 文	〃
4	森岡遺跡	〃	〃	〃
5	二ツ石遺跡	〃	〃	〃
6	妙法塚遺跡	〃	弥・古	池田名
7	中田遺跡	〃	繩 文	〃
8	大野浜城跡	平 山 城	中世	久原・名
9	平山古墳	古墳(円墳)	古 墳	〃
10	大野城跡	平 山 城	中世	大野名
11	大野原遺跡	散 布 地	繩・弥	〃
12	甘木遺跡	〃	弥・古	〃
13	上松高野遺跡	〃	弥 生	〃
14	下源在高野遺跡	〃	繩 文	〃
15	上源在高野遺跡	〃	〃	〃
16	東空閑城跡	平 山 城	中世	東空閑名
17	才木遺跡	散 布 地	繩 文	〃
18	小原下遺跡	〃	〃	大三東乙
19	小原上遺跡	〃	〃	三之沢名
20	松尾遺跡	包 藏 地	古・奈良	松崎名
21	山ノ内遺跡	散 布 地	〃	三之沢名
22	一野遺跡	〃	弥・古	〃
23	上一野遺跡	〃	繩 文	〃
24	灰ノ久保遺跡	〃	〃	〃
25	礫石原遺跡	〃	〃	大野名



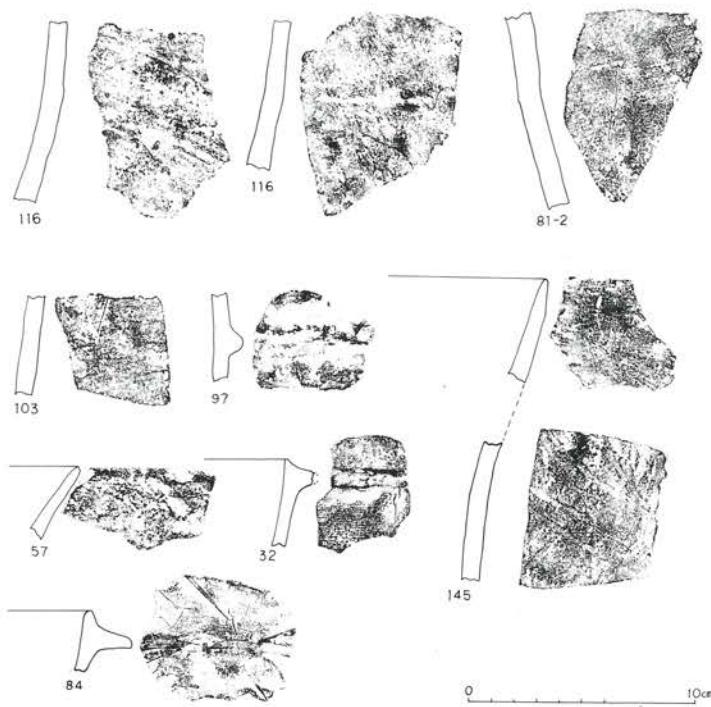
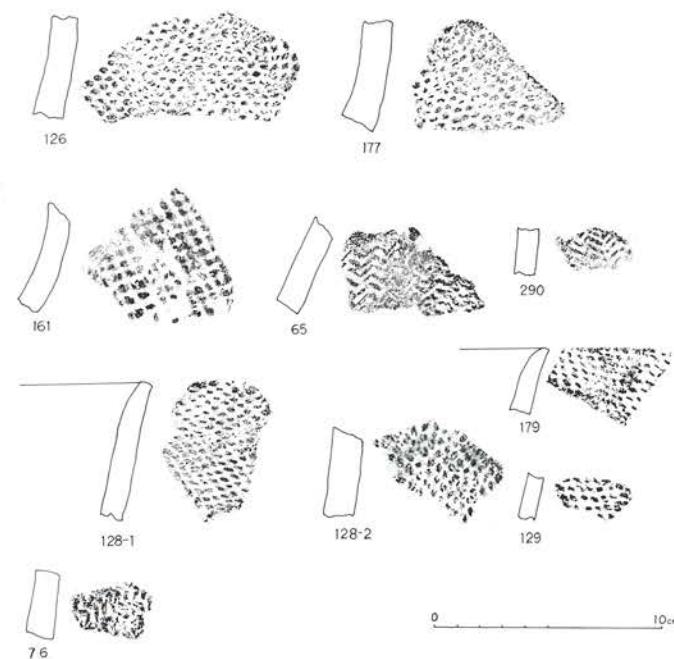
第2図 トレーナー設定概様図

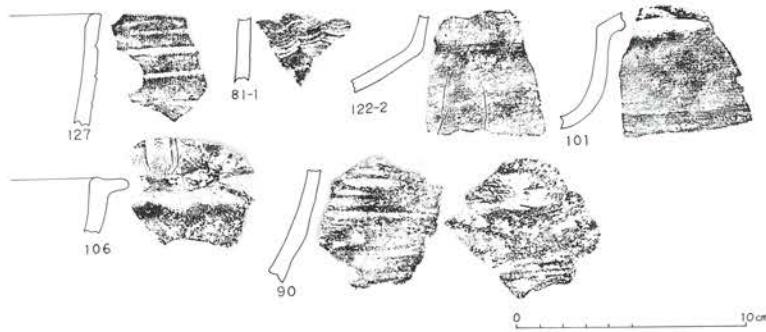
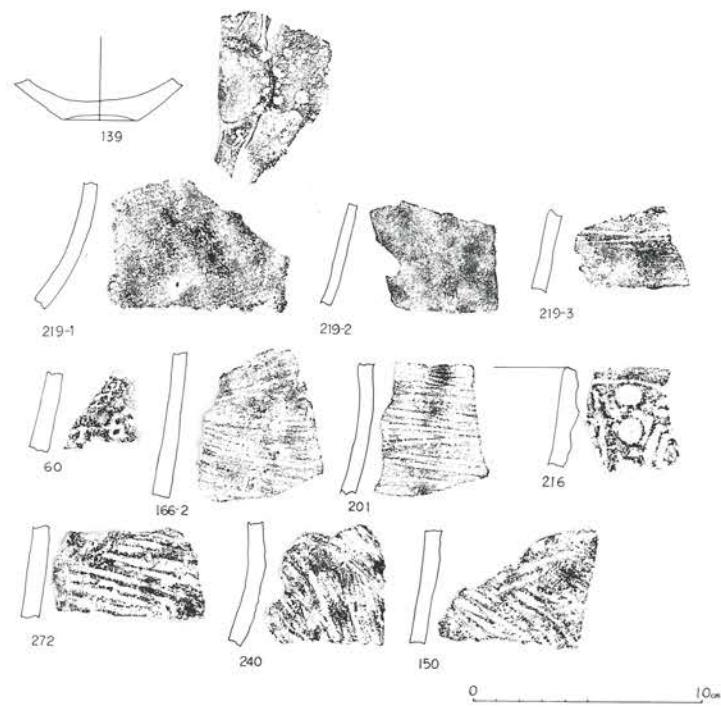
第3図 各トレンチ地層図

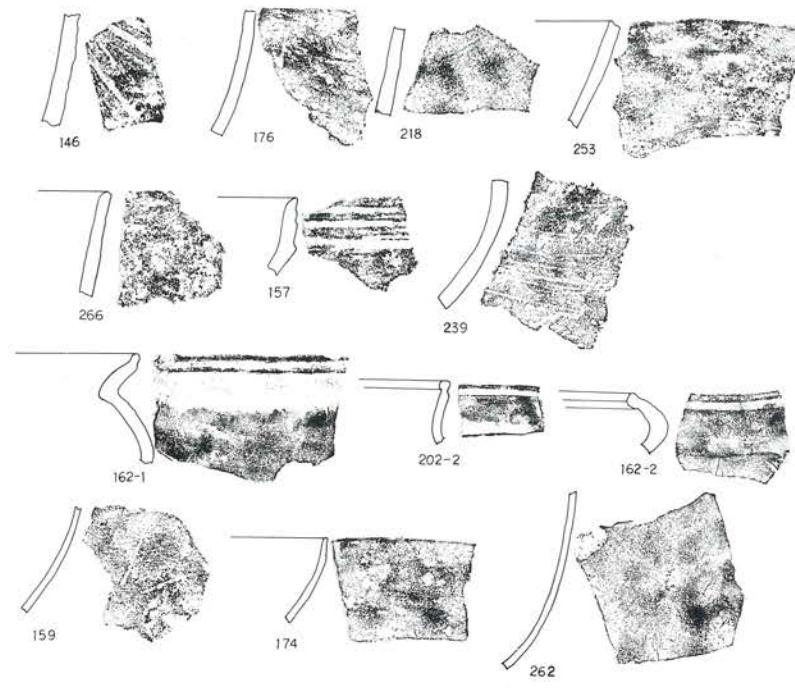
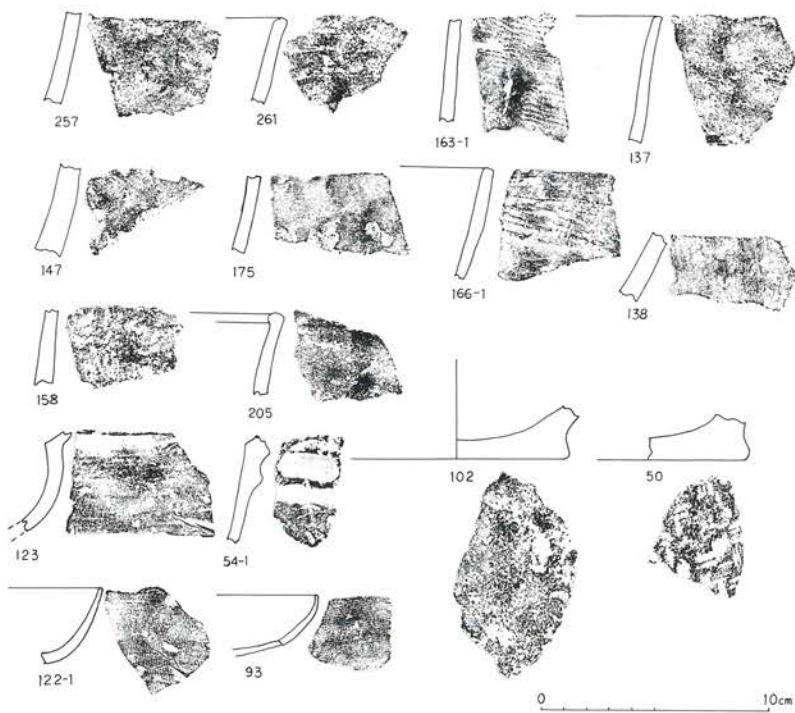




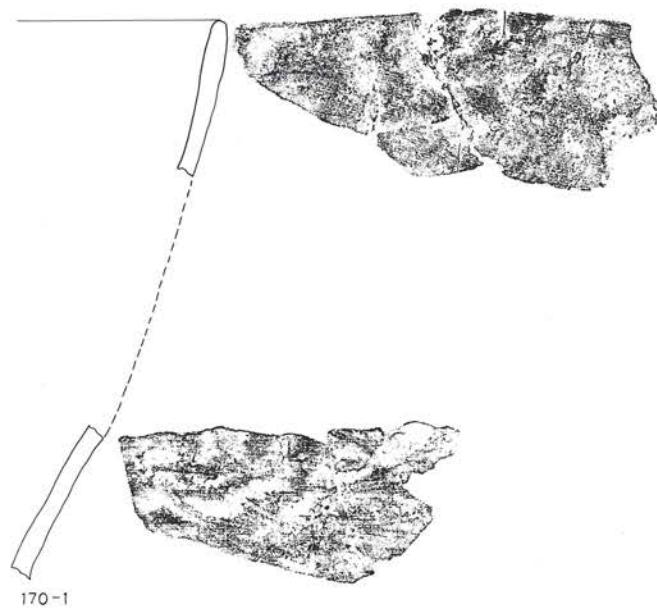
第4図 土器実測図



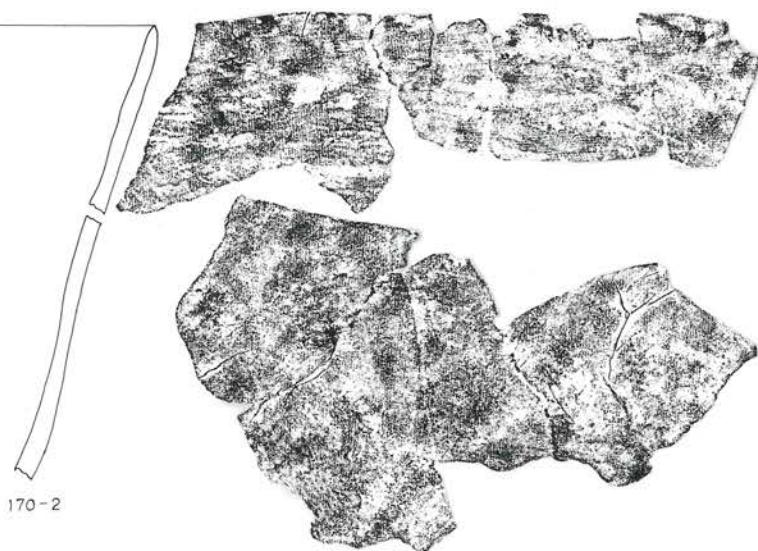




第5図 一号甕棺実測図

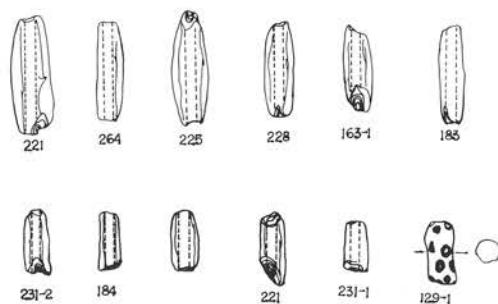


0 10 cm



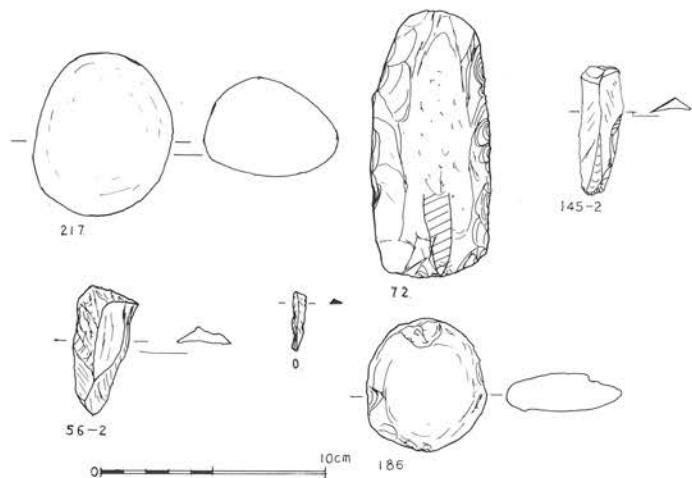
0 10 cm

第6図 土錘実測図

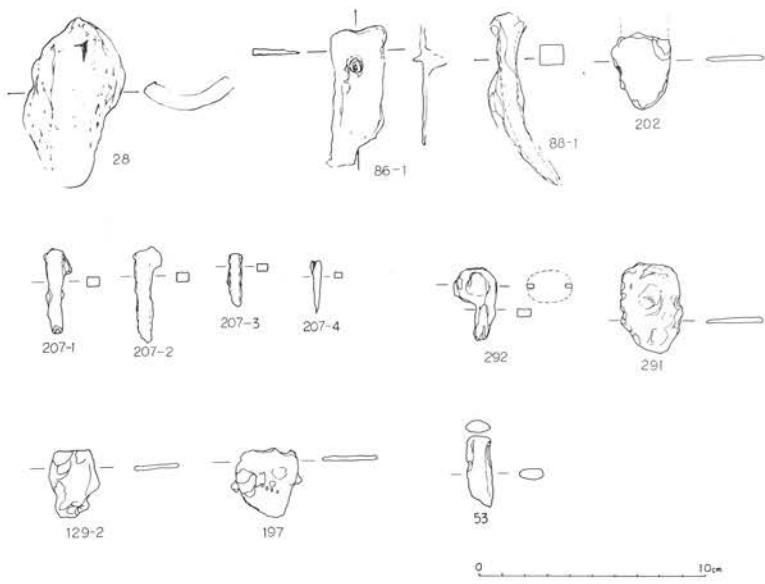


0 5cm

第7図 石器実測図



第8図 鉄器実測図



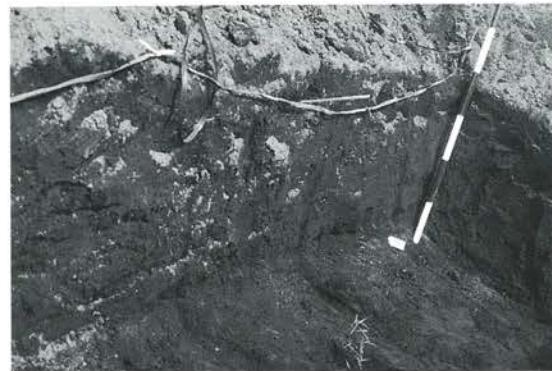
第9図 各トレンチと内部写真図



I T



I T の発掘状況



I T - I 内 部



I T - 3 内 部



2 T の発掘状況



2 T - I



2 T - 3



2 T - 5 遺物出土狀況



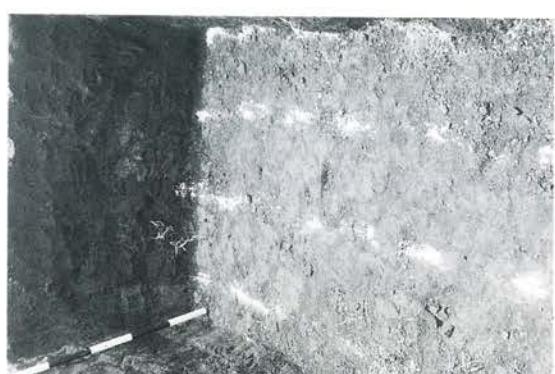
2 T - 1



2 T - 3



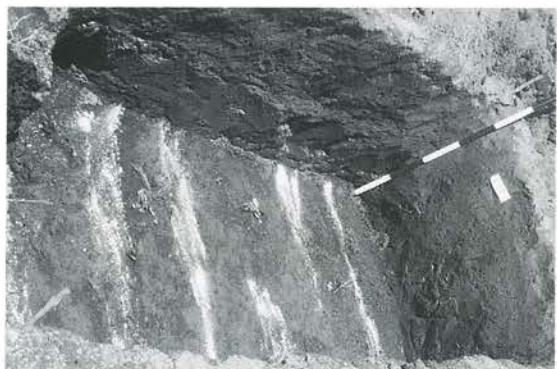
2 T - 5



2 T - 9



3 T 発掘状況



3 T-2



3 T-4



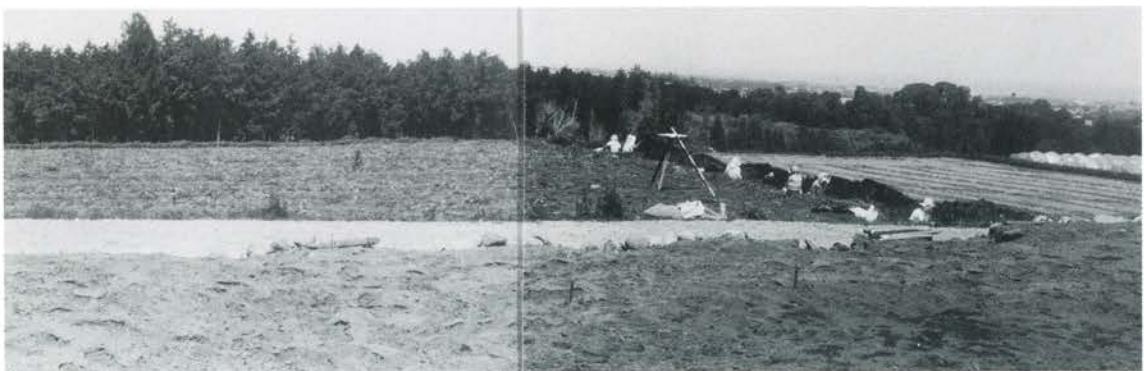
3 T-6



3 T-6 セクション



3 T-10 セクション



4, 5, 6 トレンチ設定地



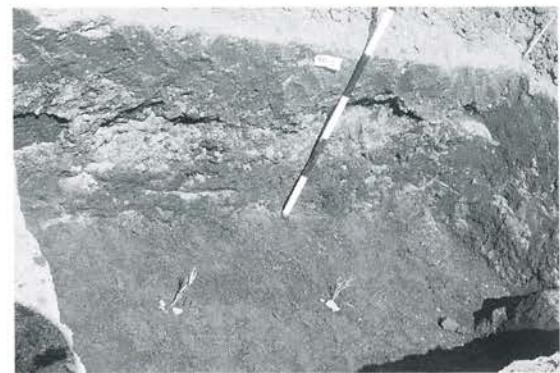
4 T - 1



4 T - 3



4 T - 4



4 T - 5



5 T 地



5 T - 1



5 T - 3



5 T - 5



5 T - 7 石斧出土状况



5 T - 9



6 T 地



6 T - 1



6 T - 3



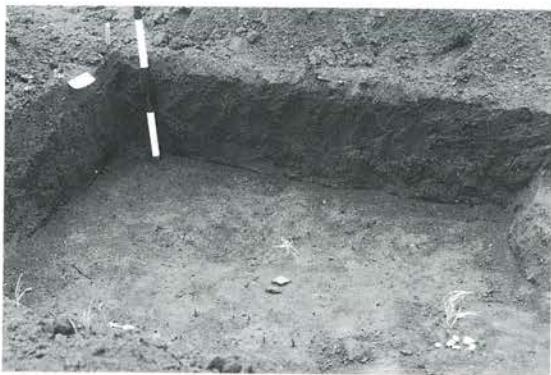
6 T - 5



6 T - 7



6 T - 9



7T-1



7T-3 遺物出土状況



7T-5 ピットの状況



7T-5 埋葬施設の置き石



7T-7 遺物出土状況



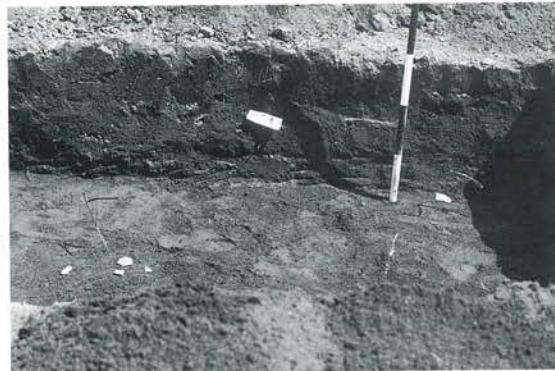
7T-7, 102 出土状況



8 T - 1



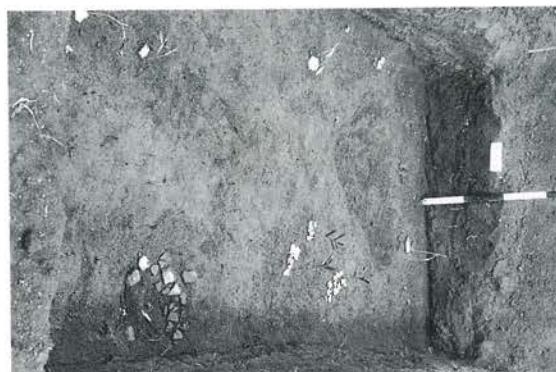
8 T - 1



8 T - 3



8 T - 5



9 T - 2



9 T - 2



9 T - 2



9 T - 2



9 T - 2



9 T - 6



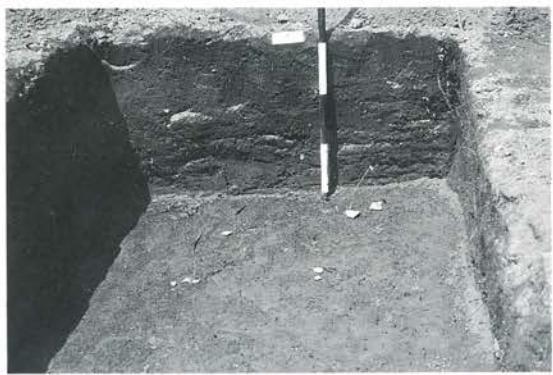
10 T - 2



10 T - 6



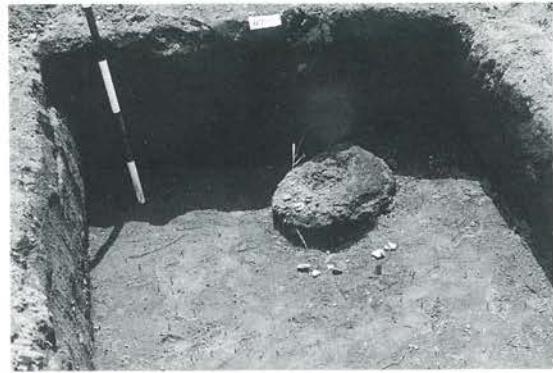
IIT-1



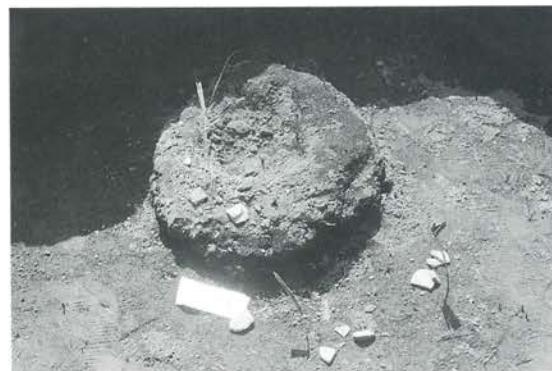
IIT-1



IIT-1



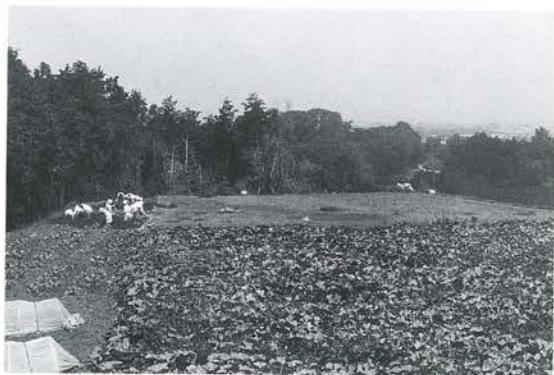
IIT-3



IIT-3



IIT-5



I2, I3, I4 T 地



I2 T - I



I2 T - 3



I3 T



I4 T - 3



I5 T - I



15 T - 1



16 T - 1



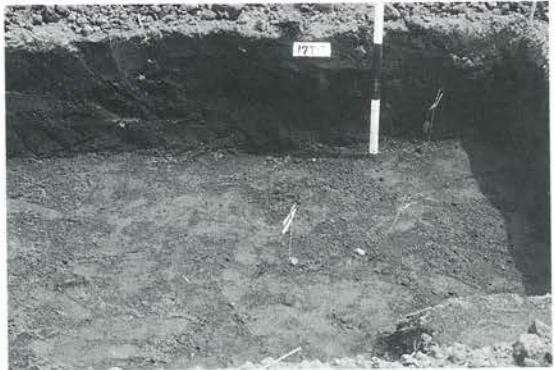
16 T - 1



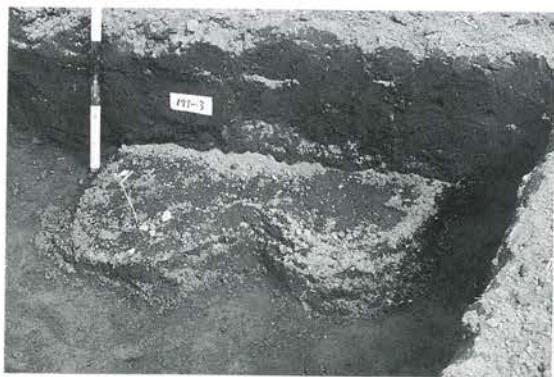
16 T - 3



16 T - 5



17 T - 3



17 T - 3



17, 18 T 地



17 T - 1



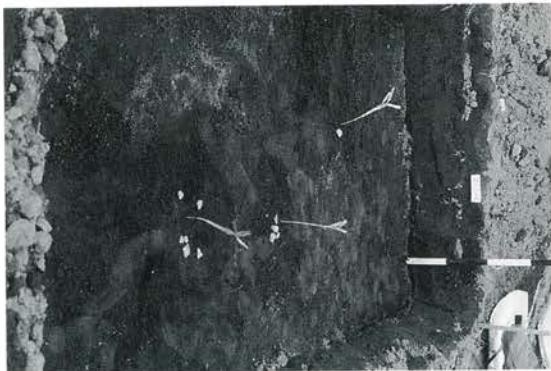
18 T - 7



18 T - 5



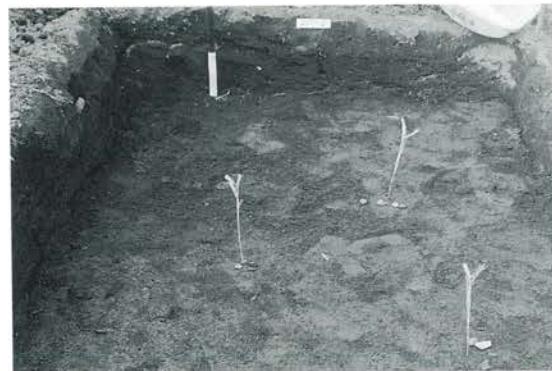
19 T - 5



20 T - 1

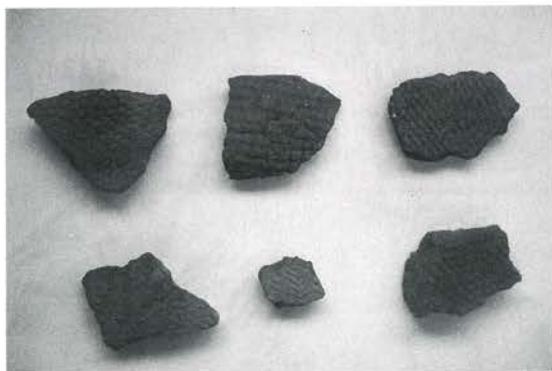


20 T - 3

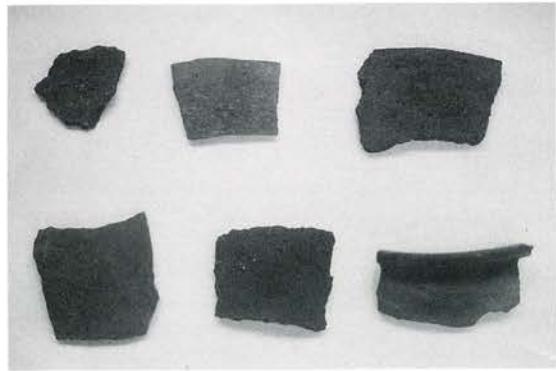


20 T - 5

第10図 土器写真図



177, 161, 128—1  
65, 129—2



261, 174 (ケンマ), 253 (スク)  
262 (ケンマ), 239 (スク), 162—1 (スクケンマ)



268 (トーキ), 254—1, 237 (ハジ)  
243 (サクシ), 木260

木灰



上段, 土スイ  
下段, ドスイ, サンゴ (129—18)

## 灰の久保遺跡調査速報

昭和62年8月発行

発行所 有明町教育委員会

印刷所 昭和堂印刷  
長崎県諫早市長野町1007



